

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和7年6月18日(2025.6.18)

【国際公開番号】WO2024/075199
【出願番号】特願2024-555517(P2024-555517)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/09(2006.01)

A 6 1 M 25/092(2006.01)

【FI】

A 6 1 M 25/09 5 3 0

A 6 1 M 25/092 5 1 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤを先端方向に送出するワイヤ送出装置であって、
前記ワイヤを把持可能及び把持解除可能且つ前記先端方向及び後端方向に移動可能な把持部と、
前記把持部を前記先端方向へ付勢可能な弾性体と、
前記弾性体を変形させて前記先端方向への付勢力を増加させる付勢部と、
前記付勢部により付勢力が増加された前記弾性体の変形状態を解放する解放部と、を備え、

30

前記解放部により変形状態が解放された前記弾性体による付勢力によって、前記把持部を前記先端方向に移動させて、前記把持部に把持された前記ワイヤを前記先端方向に送出するように構成され、

前記把持部は、第1把持部及び第2把持部を有し、前記第1把持部と前記第2把持部とは、前記ワイヤを把持するタイミングを異ならせることが可能となるように構成されている

ワイヤ送出装置。

【請求項2】

前記第1把持部は、前記第2把持部よりも前記先端方向に配置されている請求項1に記載のワイヤ送出装置。

【請求項3】

40

前記第1把持部は、前記ワイヤを平面で把持するように形成され、

前記第2把持部は、前記ワイヤを湾曲面で把持するように形成されている請求項1または請求項2に記載のワイヤ送出装置。

50